

事業所名

こどもハートステーション吹上

支援プログラム（参考様式）

作成日

7年

1月

31日

法人（事業所）理念	親御様のお子様に対する「不安」と「期待」に応え、時代変化によって移り変わる『ニーズ』に対してお子様、親御様ともに付加価値を追及していく				
支援方針	障害をもった中高生本人とその保護者に対して①将来に向けた生活力 ②就労に向けた練習 ③就労に向けた情報共有を提供していく				
営業時間	10時	0分	19時	0分	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	学齢期における基本的な生活リズムをもとに、個々に合わせて生活リズムの形成を目指します 来所のあいさつで始まり、退所のあいさつで終わるようにします。			
	運動・感覚	手先を使った微細運動から、部屋中を使った粗大運動まで保育士、教員免許を持ったスタッフを中心とし、活動を企画しています。 個別の活動からお友達との関わりを形成する集団活動まで楽しく身体を動かします。			
	認知・行動	1日の流れは視覚的にわかるように掲示し、おおまかな流れを視覚的、声掛けの2つで情報処理し行動に移す支援をしています。 活動、生活の中に視覚的にわかりやすい情報を落とし込んで環境整備をしています。			
	言語 コミュニケーション	生活、遊びの中からお子様の自発的な発声を促し、お友達、スタッフとの関りを大切にします。 発声を支援しながらも、個々の意思表示の方法を大切に、自己肯定感の向上につなげます。			
	人間関係 社会性	生活、遊びを通して、18歳以降の社会生活を目標に支援を行います。 その中で、ルールを守ること、相手との関わり方について、個別、小集団を通して、ともに学んでいきます。			
家族支援	ご家庭の状況に応じて利用時間の延長等に対応しています。（対応可能な範囲）	移行支援	ライフステージに合わせ、次の進路への情報提供や関係機関とのつながりを活かした支援を展開しています。		
地域支援・地域連携	地域での生活という点で、長期休みの買い物体験や地域のイベントに参加しています。	職員の質の向上	毎月の社内研修から外部研修のアウトプット等を通じて総体的に支援の質の向上に努めています。		
主な行事等	季節に合わせた内容の工作、クッキング、集団活動を行い、楽しみながら個々のスキルアップをめざします。				